

令和5年度 第2回 燕市スポーツ推進審議会 会議録（要旨）

日 時 令和5年11月2日（木） 午前9時30分～午前11時15分

会 場 燕市役所 3階 会議室 301

出席委員 田辺 良文 小林 武和 櫻井 和宏 本間 俊文  
前山 幸一 丸山 平一 横田 浩 平岡 昌容

欠席委員 河井 昌之 佐藤 浩 武田 弘子 柳原 康浩

事務局 教育長 小林 靖直 教育次長 岡部 清美  
社会教育課長 石黒 昭彦 スポーツ推進室長 廣瀬 雅則  
スポーツ推進室係長 遠藤 勝幸 スポーツ推進室主事 田巻 翔平

1 開 会

2 開会のあいさつ 燕市スポーツ推進審議会 会長 田辺 良文

3 議 題

(1) 第2次燕市スポーツ推進計画の素案について・・・資料

(2) その他

4 閉会のあいさつ 燕市教育長 小林 靖直

5 閉 会

会議録

事務局：ただいまより令和5年度第2回燕市スポーツ推進審議会を開会いたします。  
本日はご多忙にもかかわらず、ご参加くださり、厚くお礼申し上げます。  
本日の審議会につきましては、議事録を作成し、後ほどホームページに公表する必要があります。また、音声を録音させていただきますのでご承知お祈いします。  
それではまず初めに、田辺会長よりご挨拶をお願いいたします。

会 長：改めましておはようございます。本日は皆様御多忙のところ、お集まりいただきありがとうございます。  
急速な少子高齢化、気候の変化という厳しい世相の中で、スポーツ推進を考えなくてはならないことは大変難しい課題であります。日頃、各方面で御活躍の皆様からそれぞれの立場での意見を聞かせていただき、より良い推進計画を作りたいと考えております。本日はよろしくお祈いいたします。

事務局：ありがとうございました。  
それでは議事に入ります前に欠席委員の御連絡です。  
本日、1番の河井委員、4番の佐藤委員、5番の武田委員、臨時委員の柳原委員につきましては欠席の御連をいただいています。

本日出席委員数は8名であり、過半数の出席を得ておりますので、燕市スポーツ推進審議会、審議会条例第6条第3項の規定により、会議は成立することを報告いたします。それでは本日の資料、確認いたします。  
事前に配付させていただきました資料が本日使用する資料となっております。不足している資料はございませんでしょうか。  
ないようですので、これより議事に入ります。  
燕市スポーツ推進審議会条例第6条第1項で審議会は会長が招集し、会長が議長となるとなっておりますことから、以降は田辺会長より、議事の進行をお願いいたします。それでは、田辺会長よろしくをお願いいたします。

## 議事録

議長：それでは議題に入らせていただきます。  
議題の(1)第2次燕市スポーツ推進計画の素案につきまして事務局より説明をお願いいたします。

事務局：第2次燕市スポーツ推進計画につきましては、本日の審議会で委員の皆様からご意見をいただき、その意見を反映させた上で12月の市議会で説明をいたします。  
その後、パブリックコメントの実施を経て最終案を作成します。  
作成後、2月にもう一度審議会を開催し、答申をいただくという流れになります。  
最終的には3月に市議会への答申案説明を経て完成を予定しております。  
それでは内容について説明をさせていただきます。

### (事務局説明)

議長：ありがとうございました。大変幅広い分野で説明いただきましたが、皆様ご意見いかがでしょうか。

委員：まずは、第1回の会議録ありがとうございました。  
第1回では、「する」スポーツ、「みる」スポーツ、「ささえる」スポーツの支援と総合型地域スポーツクラブの盛り上げの2点を強く要望させていただきましたが、それらの視点がはっきりしており、非常に良い計画になっていると感じました。  
2点質問をさせていただきます。  
まず1点目、12ページの、新たな視点としてスポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」の2つの要素がありますが、国のスポーツ基本計画におけるもう一つの要素、スポーツを「つくる、はぐくむ」というのが抜けていると感じました。これは単に抜けているのか、あえてこの2つに絞ったのか説明をお願いします。  
2点目、14ページの基本目標・成果指標の中で、総合型地域スポーツクラブの会員数の目標値を1,400人とされていますが、おそらく成人や部活動地域移行を考慮されていない数値かと思われます。その点をどのように考えられているか説明をお願いします。

事務局：1点目の新たな要素、スポーツを「つくる、はぐくむ」について、当初は計画に盛り込む予定でしたが、燕市で「つくる、はぐくむ」の要素を取り入れた取り組みが難しいと考え、今回はあえてはずしています。  
2点目、目標値については第3次燕市総合計画で掲げている数値になっており、当時は部活動地域移行の議論が入っていませんでした。今後、目標値を整理する必要があると考えております。

委員：18 ページ、全国規模のスポーツ大会への参加支援という中で、小中学生保護者向けの遠征費補助金交付の対象は、高校生まで拡大することは考えているでしょうか。

事務局：義務教育で線引きをし、小中学生の保護者に限定しています。現状では高校生の保護者まで拡大する予定はございません。

委員：19 ページ、パラスポーツについての記述がありました。  
市内に県の車いすダンスの事務局がありますので、その方たちの写真を掲載すると地元の宣伝になって良いかと思えます。ぜひ検討してください。

事務局：ありがとうございます。検討いたします。

委員：スポーツ推進委員の観点からお願いがあります。  
17 ページの 9 番、子どもたちへのスポーツの普及というところの中に、スポーツ推進委員や、スポーツ推進団体の協力のもとということで記載されていますが、昨今、スポーツ推進委員の人数が減り、昔あった各地域での推進活動がなくなってきています。ソフトバレーなどのスポーツ大会を開催しても、ある程度の経験者が出場され、地域が出られないという状況が見受けられます。  
もう少し出場の敷居が低い大会、また子どもが出られる大会を開催できれば、より多くの方から参加がいただけるのではないかと考えております。

事務局：現在、市民のスポーツ大会については燕市スポーツ協会へ委託して開催しておりますが、確かに出場者の傾向に多少の偏りが出てきていることも見受けられますので、各方面と相談しながら検討していきたいと考えております。

委員：燕市スポーツ推進委員は現在何名在籍していますか。

事務局：上限 50 名のところ、現在 26 名です。

委員：以前、燕市の体育指導員（現スポーツ推進委員）をしていたことがあり、高齢者のスポーツ教室など地域に根づいた活動をさせてもらっていました。  
委員がもっと増えれば、それぞれの地域でまた活動ができるかと思えます。

委員：スポーツ推進委員の代表をさせてもらっていますが、委員の年齢層に偏りがあり高齢化しています。経験が長い方の他に若い力もお借りしたいので、市のほうからも働きかけをお願いしたい。

事務局：来年、委員更新の時期になりますので、若い世代を取り入れられるよう検討を進めます。

委員：14 ページ、全国規模のスポーツ大会への出場者数の目標値、難しい数値のように感じますが、達成するために何か施策は考えられていますか。

事務局：まず、競技スポーツだけではなく、広く誰もがスポーツ活動できる体制づくりをベースとして施策を展開しています。  
その中で、上を目指したいという子がいたときに、指導環境、活動環境、経済的負担に対する支援等を図ってまいります。  
また、子どもたちが夢や希望を持てるよう、トップアスリートを招いてのスポーツ教

室の開催により、競技力の向上に加えて競技意欲の向上を図っていきたいと考えています。

委員：素質がある子をどう伸ばすかというところが難しいと思っています。  
勝利至上主義が良くないと言われている中、伸びる子を伸ばせる環境をつくれるかどうかで目標達成ができるか全国大会出場者数が変わってくると思います。

議長：目標達成には地域移行も影響しそうですが、指導レベルを維持したまま移行できるかというところ、個人的には維持できないだろうと考えています。それも踏まえると目標値が高いような気がします。  
まずは、冷暖房等のスポーツ環境の整備を整えていくことが必要ではないかと思いません。

事務局：目標値の部分を説明させていただきます。R3年の基準値80人、R8年の中間目標値で150人とありますが、コロナ禍前で既に163人という実績が出ています。  
目標としては、まずはコロナ禍の数値に戻してから、少しずつ増やしていく設定にしていますので、かけ離れた目標ではなく、過去の実績に基づいたものとなっております。

教育長：小学生の全国大会を開催していない種目が多くなっていますし、中体連でも令和8年度以降の全中の開催方針が示されていません。  
目標値につきましては、今後、全国大会の絶対数が減少していく可能性を考慮して再度検討いたします。

委員：R3年に実施したアンケート「あなたがよく行うスポーツや運動」の問いにウォーキングをされている方が多いということです。自宅の近くで手軽に運動できることが要因かと思えます。  
こうしたニーズがある中、施設を作るだけでなく、ウォーキングに適した場所を整備してはどうでしょうか。  
安心して歩ける場所があると、スポーツ人口の増加に繋がるかと思えます。

事務局：周知不足ではありますが、燕・吉田・分水それぞれの地区に、景色を見ながら歩くことができるフットパスコースを設定しています。  
こちらは、「健康づくりマイストーリー運動」ポイント事業のメニューにも入っていますが、今後、広く市民から取り組んでいただけるように周知を図ってまいります。  
貴重なご意見ありがとうございます。

議長：朝や夜に歩いている方をいっぱい見ますので、そこを見逃さない方が良いでしょう。  
ちなみに、ウォーキングしている方は、スポーツする方の中にカウントされていますか？

事務局：本計画を作成するにあたってアンケートした際に回答いただいた方の人数は把握していますが、経年的な人数の把握は行っていません。

委員：「みる」スポーツの推進においてプロスポーツ誘致は重要だと思いますが、市内のみならず県内で開催される大きなイベント等を紹介する仕組みがあれば、市民がスポーツに関心を持ち現地で観戦する、またはスポーツ意欲の向上に繋がるかと思えます。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。

議 長：他に意見はございますか。  
ないようですので、最後、事務局からなにかありますでしょうか。

事務局：様々なご意見をいただきありがとうございました。  
今回のご意見、12月議会、パブリックコメントを踏まえ、最終案をお示しいたします。  
そこで最終審議をいただきたいと存じますので、引き続きよろしく願いいたします。  
第3回の審議会は2月を予定していますが、詳細日程は改めてご案内いたします。

議 長：これで審議を終了いたします。進行を事務局にお返しします。

事務局：ありがとうございました。閉会にあたり、燕市教育長の小林靖直よりご挨拶を申し上げます。

教育長：本日はご多用の中、ご協議をいただきありがとうございました。  
いただいたご意見を事務局で練り直し、12月市議会へかけさせていただきます。  
その後、また皆様から再度ご協議いただくこととなりますが、引き続きご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事務局：以上をもちまして、令和5年度第2回燕市スポーツ推進審議会を終了いたします。